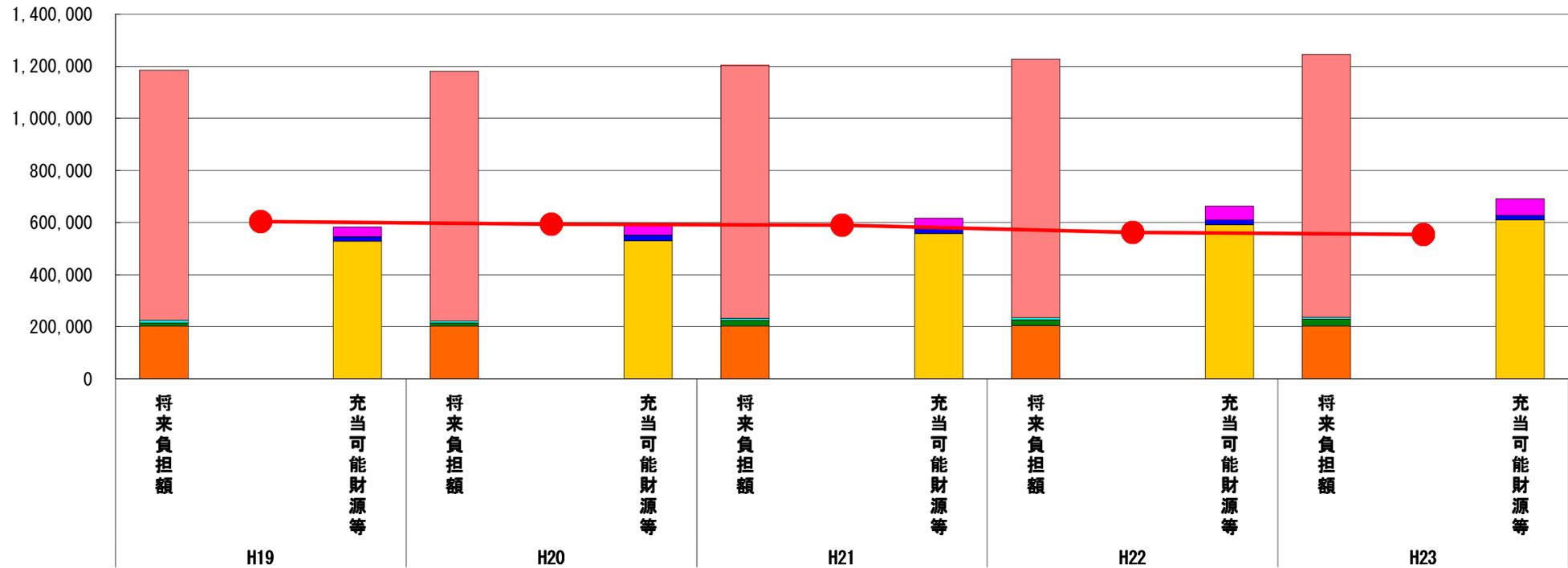


(8) 将来負担比率（分子）の構造（都道府県）

平成23年度

愛媛県

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		961,053	958,562	970,114	991,151	1,008,090
	債務負担行為に基づく支出予定額		8,905	8,602	8,283	8,287	7,637
	公営企業債等繰入見込額		13,320	12,433	22,346	22,450	25,134
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		201,673	201,723	202,445	204,169	203,230
	設立法人等の負債額等負担見込額		57	77	18	27	31
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		35,852	36,258	36,361	55,391	64,489
	充当可能特定歳入		18,560	21,916	19,733	17,090	16,431
	基準財政需要額算入見込額		527,053	530,438	558,405	591,402	610,226
(A) - (B)	将来負担比率の分子		603,544	592,785	588,708	562,200	552,976

分析欄

一般会計等に係る地方債の現在高の増は、交付税措置のある臨時財政対策債の残高が増加したことによるものであり、事業削減による建設地方債等残高の減に伴い、将来負担比率の分子は減少している。

また、県の財政健全化基本方針等に基づく取組みを徹底し、財政基盤強化積立金、県債管理基金を積み立てたことにより、充当可能基金が増加した。

今後も、将来負担に配慮した地方債発行を行うなど、引き続き財政運営の適正化に努める。